

経法祭を卒業生の集える場に



今年も学生のイベント、経法祭が11月9日(金)~11日(日)の3日間の日程(9日は前夜祭)で開催されます。校友会は例年、校友会の在

学生に対する知名度アップと経法祭に参加する校友の憩いの場を提供するために、経法祭に企画参加しています。これまで、正門を入ってすぐ右手にある大阪経済法科大学校友会と白く染め抜かれたブルーのテントで、おでんやパン・コーヒーの販売、豪華景品のあたるくじ引きなど、さまざまな企画を行ってきました。

今年も、餅つき実演販売・・・地域住民、子供、在学生など、年齢・性別を問わず参加できるイベント、ポップコーン

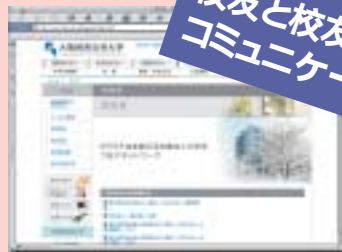
実演販売、フリーマーケット・・・地域住民と交流できるフリースペースを用意し、地元で生産された野菜、くだもの、花の販売を行う。展示コーナー・・・絵画、手芸、陶芸など、作品の展示コーナー、などの企画を行います。フリーマーケットや展示コーナーへの参加を希望される校友は、校友会事務局までご連絡下さい。

経法祭期間中には毎年たくさんの校友が校友会テントを訪れ、おおいに懇親を深めています。今年も、母校の発展ぶりをみたいと高知支部から支部役員が大挙訪問する予定になっています。

校友会では、今年度の経法祭期間をホームカミングデーとして位置づけ、校友が懐かしいキャンパスに集い、交流を深めることができるよう準備を進めています。家族連れ、友人を誘って、ぜひ母校に遊びに来てください。詳細については、校友会ホームページに掲載(10月中旬予定)しますので、ご覧下さい。



校友会ホームページを校友と校友会のコミュニケーションの場に



校友会ホームページ(大阪経済法科大学ホームページのトップページ「卒業生の方へ」から入ります。)を校友と校友会の双方向コミュニケーションの場として積極的に利用しましょう。

校友会ホームページのトップページでは、学歌「白き学舎に」を聞くことができます。「活動報告び行事予定」には校友会の最新情報やそれぞれの校友会事業の様子などを掲載しています。また、校友の近況報告や校友会事業に対する要望などを「校友会掲示板」を通じてぜひお寄せ下さい。

女性部会からのお知らせ

女性校友の皆さまには、経法祭に参加していただく模範店で使用できるチケットや記念品など、さまざまな特典があります。校友会報に同封した案内書を校友会テントにお持ち下さい。

また、「第3回女性校友の集い」を現在企画中です。改めてご案内をお送りしますので、より多くの女性校友のご参加をお願いします。

校友会報

大阪経済法科大学・校友会報・12号
Eメールアドレス:kouyuukai@keiho-u.ac.jp
編集 / 大阪経済法科大学校友会事務局
〒581-8511
大阪府八尾市楽音寺6丁目10番地
TEL・FAX 072・941・8268

NO.12 校友会報・12号 2007年10月1日発行



CONTENTS

- 第9回校友会総会報告
- 2007年度校友会事業計画
- 第2回全国支部長会議
- 大学の近況
- 支部だより
- 活躍する卒業生
- 課外活動現況
- 経法祭案内





全国から166名が参加し、第9回大阪経済法科大学校友会総会開催さる

今年は地震や豪雨のため各地で大きな被害が出た。昨年より気温は上がり涼しい風が吹く中7月21日(土)、第9回大阪経済法科大学校友会総会がホテルニューオータニ大阪

で開催された。総会には全国から昨年より多い校友が参加し、教職員・在学生を合わせて166名の参加者が会場に集まった。

阪本誠常任幹事の司会進行のもと、午後4時に開会した第9回校友会総会では、冒頭、伴井敬司校友会会長の開会の挨拶後、藤本和貴夫学長から挨拶を兼ねて、大学の近況ならびに今後の大学の方向性について、PowerPoint(パワーポイント)を使用した報告が行われた。

続いて議事に入り、西澤十三夫常任幹事より「2006年事業報告及び収支決算書」、「2007年事業計画及び収支予算書」についての詳細な報告が行われた。さらに、総会に参加した山下浩希石川支部長・常井暁岡山支部長・耕田博昭広島支部長・石塚央香川支部長・清遠敬三高知支部会計監査・平安名栄彦沖縄支部幹事から、各支部の活動状況についての報告が行われた。

最後に、安田公治副会長から閉会の挨拶があり、午後5時、第9回校友会総会は無事閉会した。

少林寺拳法の演舞に息をのみ、豪華賞品に一喜一憂 和やかな雰囲気で懇親会

総会終了後、「ホテルニューオータニ大阪」の「鳳凰の間」にて懇親会がスタートした。

校友会と大学との関わりでは、昨年、岡山支部役員が地元で開催された父母懇談会に参加し、父母と懇談いたしました。今年はすでに沖縄をはじめとして高知・香川・広島・石川の5カ所において父母と支部役員の懇談会が行われました。校友会が何らかの形で大学の発展に寄与できる機会になったのではないかと考えております。

先月の幹事会において今期も引き続き会長という大役を仰せつかりました。来年には第10回とい節目となる総会を迎えます。現在、学内には校友が母校を訪れた時、気楽に立ち寄れるスペースがありませんが、これを何らかの形で実現したいと考えております。

私のモットーはより多くの人に出会うというものです。出会った人の多さによって人としての大きさが変わってくると思います。その意味で、この総会・懇親会を通じて、多くの校友との間で世代を超えた出会いが生まれることを期待します。

最後に、校友のみみなさんのご理解とご協力により校友会事業を活性化させ、母校の発展と校友の親睦が深まっていくことを祈念して、ご挨拶とします。



中津広志常任幹事・三浦江美幹事の司会進行のもと、まず村下博校友会副会長(法学部教授)から開会の挨拶が行われ、続いて向井成隆教育後援会顧問から祝辞

があった。そして、山下浩希石川支部長による乾杯の音頭で懇親会が始まった。

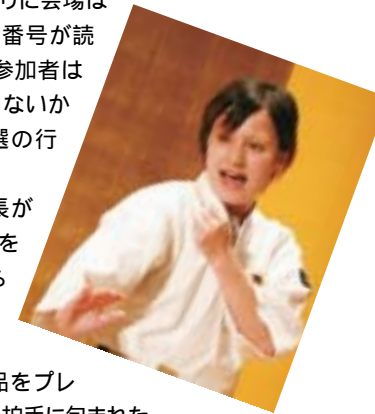
各テーブルでは久々の再会ということもあり、同級生の輪・先輩後輩の輪・卒業生と教員の輪など、あちらこちらで終始和やかな懇談の光景が見られた。しばし歓談の後、大学の卒業生で「和歌山LOVE SONG」等のヒット曲で有名なウインズの平阪佳久(1981年度卒業)さんを司会進行役に参加者インタビューを行った。沢山の卒業生、在学生からの近況報告やコメントに会場の雰囲気も徐々に盛り上がりつつあった。

つづいて少林寺拳法部(体育会クラブ)による演舞のパフォーマンスが行われた。日々鍛え抜かれた技に歓声が沸き盛大な拍手が送られた。盛り上がりが高潮に達したところで、今年もやってきました大抽選会!!三戸泰樹常任幹事と加藤真司幹事の司会進行のもと、大抽選会がスタートした。

今年も「教育後援会・在学生の部」、「校友の部」の2部構成で行われた。大抽選会の商品には、液晶テレビ・DVDプレーヤー・ゲーム機器などの豪華賞品が準備された。三戸・加藤両司会の軽妙なやりとりで会場は笑いに包まれたが、抽選番号が読み上げられると、会場の参加者は自分に豪華賞品が当たらないかと真剣なまなざしで抽選の行方を見守った。

今年も強運の伴井会長が豪華賞品(ゲーム機器)を引き当てると、会場からは嬉しい野次が飛んできた。しかし、会長が参加した会員の子供に賞品をプレゼントすると会場は暖かい拍手に包まれた。

最後に、卒業生・在校生・教職員全員で校歌「われらが白き学舎に」を熱唱し、懇親会が締め括られた。参加した校友達は、また来年も会うことを約束し、懇親会会場を後にした。



教育改革の成果が着実に



大阪経済法科大学 学長 藤本和貴夫

本学は1971年の創設以来、およそ3万7千名の卒業生を社会に送り出してきました。現在、日本の大学はほぼ全入時代に入ったといわれており、本学をより発展させるためには、大学の個性とその実績を、いかにアピールできるかということにかかっています。

ここ数年間、私どもが進めてきた教育改革の成果は着実にあがってきました。

第1は、コース制の導入であります。法学部は法曹コース、公務員コース、企業人コース、生活環境コースの4コース、経済学部もビジネス・コース、総合経済コースに加えて来年度から会計ファイナンス・コースとITキャリア・コースを新設します。

第2は、正課授業と連動した本学独自のSコース(特修講座)であります。その成果の一端は、難関の法科大学院合格者が19名、教員、国家公務員種、裁判所事務官、京都府警など公務員試験合格者が27名として現れています。就職率は、96.9%で、上場企業への就職実績は129名です。また、2007年度の資格・検定試験の合格者は、社会保険労務士、行政書士、日商簿記1級等、その数は730名に達しました。

2005年度に開設した「学習支援センター」は、学生諸君のあらゆる問題に対する相談窓口の機能を果たしております。また、2007年度には、教育の質を向上させるために「大学教育開発支援センター」を開設しました。教育の国際化という面では、英語圏・中国・韓国留学コースを立ち上げており、8月には、韓国の崇実大学校に中国の復旦大学を加えた、日中韓3カ国学生セミナーを開催します。

最後に、本学は創設以来、「経済学と法学が社会の両輪であり、2つの学問を修めることで無類の人格を形成することができる」「実践の中から真理を学び取る」という建学の理念に基づく教育を目指してきました。今後とも、より一層特色ある高等教育機関として、21世紀に活躍する人材の育成をめざしていきたくと考えております。



真心を尽くせば人の幸せがわかる

大阪経済法科大学校友会 会長 伴井敬司

校友会総会開催にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。今回で校友会総会も第9回目を迎えました。今回の総会にはこれまでの最多の校友が御参加くださいました。心より感謝申し上げます。

校友会活動も徐々に軌道に乗ってきておりますが、まず何よりも支部活動の活性化という課題があります。昨年度の総会では、宮城県で支部を作りたいという提案があり、現在、支部設立に向けて準備を進めております。また、三重県でも支部を作りたいという意向を聞いております。

2007年度校友会事業計画

2007年度6月2日開催の校友会幹事会で承認された2007年度校友会事業計画及び収支予算書は以下の通りです。既に実施済みの事業については、概略を記載しています。

1 第9回校友会総会・懇親会の開催

日 時：2007年7月21日(土)
場 所：ホテルニューオータニ大阪
詳細については、2-3頁をご覧ください。

2 組織(支部活動等)

(1)支部組織支援

支部総会未実施支部である福岡へは事務局から支援を行い、支部活動の活性化を促す。

(2)女性校友の集いの開催

企画内容を充実させ、女性会員に広く参加を呼びかける。
実施時期：2007年10月
内 容：子ども連れて参加できるような内容にする。



(3)全国支部長会の実施

開催目的:各支部の取組の経験交流や支部間での連携を図ることを目的とし、あわせて、支部からの要望を集約する機会とする。

出席者:各支部長若しくは支部代表者及び会長、副会長、常任幹事、事務局

2007年度は香川支部が幹事支部となり、8月25日(土)に開催する。

詳細については、6-7頁をご覧ください。

(4)地域支部・職域支部設立支援

関西エリアで支部を立ち上げるなど、新たな支部づくりと職域支部設立に向けた支援をしていく。地域支部・職域支部については、支部設立の要望のある地域との協議を行い、幹事会で実現可能性があると判断した場合、具体的な支部設立を支援する。

昨年来の懸案である宮城支部設立に向けて、宮城県在住の校友との懇談会を開催する。

(5)地方父母懇談会での教育後援会会員との懇談会開催

2007年7月開催の地方父母懇談会会場に、金沢、岡山、広島、高松、沖縄の各支部役員が参加し、教育後援会会員と懇談会を行う。

詳細については、11頁をご覧ください。

3 会報・広報

(1)ホームページの充実

行事予定、活動報告、各地域支部の情報など、定期的な内容を更新し、校友に新しい情報を発信する。伝言板を積極的に利用して、校友との双方向コミュニケーションを図る。

(2)校友会会報第12号の発行

発行時期：10月上旬

(3)校友会紹介パンフ作成

校友会紹介のパンフレットを作成し、卒業式当日卒業生に配布し、校友会の存在及び事業内容について周知する。

4 企画部会(学生支援)

(1)校友会奨学金

応募資格：優秀な資質を有しながら経済的理由により学費の支弁が支障のある学生

6月2日開催の校友会奨学金委員会において2007年度奨学生として12名を選考した。

(2)経法祭参加企画

校友相互の交流の場及び在学生に校友会の存在をアピールする場として経法祭を積極的に活用する。

ホームカミングデーとして位置づけ、校友に積極的に参加を促す。

詳細については、16頁をご覧ください。



(3)卒業祝賀企画

例年通り、卒業式当日に卒業祝賀企画を校友会主催事業として実施する。実施内容の充実を図る。



(4)卒業記念品の贈呈

卒業生に対して学位記カバーを贈呈する。

(5)学生活動支援

名 称：大阪経済法科大学校友会学生活動援助金

目 的:クラブ・サークル活動やボランティア活動など、課外・自主的活動を行う団体若しくは個人に対して資金援助を行うことで、その活動目標の達成を支援することを目標とする。

5 10周年記念事業

2007年度内に10周年記念事業運営委員会を立ち上げ、10周年記念事業に向けた行事・企画内容等の準備を開始する。

2007年度校友会収支予算書

2007年4月 1日から
2008年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1. 校友会費				
準会員	17,155,000	17,450,000	295,000	
正会員	300,000	300,000	0	
特別会員	100,000	100,000	0	
2. 懇親会参加費	300,000	300,000	0	
3. 受取利息	5,622	2,278	3,344	
小計	17,860,622	18,152,278	291,656	
前年度繰越金	7,967,778	4,900,703	3,067,075	
収入の部合計	25,828,400	23,052,981	2,775,419	

支出の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1. 総会				
総会等運営費	2,000,000	2,000,000	0	総会・懇親会開催費
印刷製本費	70,000	70,000	0	総会案内状印刷費
旅費交通費	500,000	500,000	0	支部役員等出席旅費
通信費	1,400,000	1,400,000	0	総会案内状発送費
2. 幹事会				
会議費	300,000	300,000	0	幹事会開催費用
旅費交通費	300,000	300,000	0	支部役員等出席旅費
3. 支部活動等支援				
会議費	1,100,000	1,100,000	0	支部総会開催費、支部長会議開催費等
旅費交通費	1,400,000	1,400,000	0	支部総会、支部長会議の出席旅費等
活動援助費	750,000	500,000	250,000	支部活動・運営・企画補助
支部設立準備費	500,000	0	500,000	支部地域支援
懇談会	400,000	0	400,000	地方教育後援会会員との懇談会費用
4. 会報・広報				
印刷製本費	1,500,000	1,355,000	145,000	校友会報発行、校友会紹介パンフ作成
通信費	1,800,000	1,800,000	0	校友会報発送費
報酬委託手数料	900,000	900,000	0	封入作業・発送代行費・HP制作費
5. 学生支援				
奨学金費	2,880,000	2,880,000	0	12名×2万円×12ヶ月
卒業記念品等	698,000	714,000	16,000	学位記カバー贈呈
卒業祝賀企画費	2,000,000	1,000,000	1,000,000	卒業祝賀会開催費
経法祭参加費	300,000	300,000	0	企画運営費
学生活動援助費	740,000	740,000	0	学生企画・活動援助金、通信費等
6. 共通・事務費				
印刷製本費	100,000	200,000	100,000	封筒等
消耗品費	400,000	600,000	200,000	
通信費	400,000	500,000	100,000	支部活動通信費、事務電話通信費等
報酬委託手数料	150,000	150,000	0	振込手数料
人件費	680,000	680,000	0	事務局アルバイト費
渉外費	100,000	100,000	0	
雑費	50,000	50,000	0	
7. 10周年記念事業積立金繰入	1,000,000	1,000,000	0	
8. 予備費	500,000	500,000	0	
小計	22,918,000	21,039,000	1,879,000	
次年度繰越金	2,910,400	2,013,981	896,419	
支出の部合計	25,828,400	23,052,981	2,775,419	

全国各地域の校友会支部長が一同に集まる第2回全国支部長会議が2007年8月25日、香川県高松市にある「喜代美山荘花樹海」において開催された。

この会議には香川支部石塚央支部長、上田英雄支部会計監査、高知支部小橋光生支部長、広島支部栢田博昭支部長、岡山支部常井暁支部長、愛知支部中町守人支部長及び校友会本部から伴井敬司会長、安田公治副会長、勝部恒夫副会長、前吉克明常任幹事(組織部)、西澤十三夫常任幹事(事務局)が参加した。

全国支部長会議は香川支部上田英雄会計監査の司会により定刻どおり開会した。伴井敬司会長より開会挨拶の後、当番支部を代表して石塚央香川支部長より挨拶があった。

西澤十三夫常任幹事より大学の近況、事業計画、課外活動状況等の報告があった。その後、勝部恒夫副会長より2007年度校友会事業計画について説明があり、第2回幹事会で承認された事業計画推進のための専門部会の構成、組織部会と企画部会の開催、広報部の活動状況等が紹介された。

第2回 校友会全国支部長会議開催される

支部の現状

小橋(高知支部): たいそうな活動はやっていない。1年に一度支部総会を開催することと会員相互の横の連絡を密にすることを心がけて運営している。

高知支部が課題として取り組んでいるのが、経法祭への参加である。昨年も提案したが実現に至らなかったため、今年こそはやりたい。高知支部から5人程度は参加の可能性がある、近隣支部の協力が得られればバスをチャーターして参加することも検討したい。支部

支援予算については、やる気のある支部を支援する方向で検討してほしい。

中町(愛知支部): あまり活発に活動しているとはいえない。その責任のすべては支部長である私にある。今年度内に支部総会を開催することが課題となっている。この間、支部役員に連絡をとり、とりあえず役



員だけでも集まろう、今後は本部の行事にもできる限り参加していこう、という話をしている。

栢田(広島支部): 支部総会を開催してもなかなか人が集まらない。会員が集まりやすい条件は何か、という根本的な問題から考えていかなければならない。7月に広島で開催された父母懇談会に参加して



父母と懇談する機会があったが、父母の関心も高く非常にいい企画なので今後も継続してほしい。

支部総会やその後の懇親会の設定の仕方、参加費を徴収すべきかどうか等、支部活動に対する援助基準を明確化するよう本部で努力してほしい。

常井(岡山支部): 岡山支部では支部総会を含め年に4回集まっている。活発な支部と思われ勝ちであるが、集まって何をするかという、その先の展開を模索中である。岡山支部の父母懇談会への参加は今年で2年目であるが、今後ぜひ積極的に参加協力していきたいと考えている。

総会をはじめ本部が主催する行事への支部役員の参加のあり方も課題である。本部の総会と支部総会はどう違うのか、といった根本的な問題もふくめ、支部のあり方について考えていきたい。

石塚(香川支部): 年1回支部総会開催が基本活動である。目標は、参加会員を増やすことで、この間その努力を行ってきた。例えば、“進路問題”をテーマに在學生に参加を呼びかけ、4年生や在學生の父母が参加したこともある。香川支部では、支部総会・懇親会にはさまざまな人が参加し、そこで情報交換してもらうことが支部活動の活発化につながると考えている。在學生が参加しやすい総会開催日をどう設定するかが課題となっている。

父母懇談会には積極的に協力したい。今年やってみて、父母は子弟の地元就職について非常に関心が高いことが分かった。クラブ合宿などにも協力する用意がある。過去に少林寺拳法部(本山が香川県にある)やソフトボ-ル部が香川で合宿したとき、差し入れに行ったことがある。事前に合宿日程を知らせてもらえれば、支部で応援できると思う。

今後の支部運営について

(1)本部からの支部支援方法について

支部総会・懇親会の補助や支部活動支援への援助基準をもう少し明確にする必要がある。

支部総会への援助額、懇親会への援助額等に分けて基準を設けておけば、参加費等の徴収を考慮した開催準備ができる。

支部活動支援費については、支援項目を例示して支援基準を設定するなどのマニュアル化が必要である。

(2)その他

支部総会参加者は、色々な人と出会い情報交換することが、結局は自分の人生にプラスになると考えるから参加する。だから一度参加した人は次からまた参加するようになる。

本部が卒業生の動向をしっかり把握しておく必要がある。そのためのデ-タ更新は大切である。かつて盛んであった在學生の「県人会」作りを校友会で支援してはどうか。「県人会」でつながれば、卒業後も支部活動に参加しやすいのではないかと。

大学も、入学志願者を集めたり就職率を高めたりすることにもっと校友会を利用してもらえればよいと思う。

支部長会議終了後、場所を移して懇親会が行われた。会場は、窓から高松市街と夕暮れに帯のように横たわる瀬戸内海と屋島が一望できる絶好の場所だった。

懇親会の中で、在學当時写真部の部長だった石塚香川支部長が、当時の古いアルバムを出席者に披露してくれた。1980年当時のなつかしい写真の1コマ1コマに嘆声を上げながら、往時の学生生活を想い出し、旧交を温め合う機会となった。また、学歌「われらが白き学舎に」を作詞された杉紀彦氏の自筆原稿のコピ-が披露され、これにはびっくりする一場面もあった。最後は、前吉常任幹事が中締めの挨拶を行い、第2回全国支部長会議の全日程を終了した。

第2回校友会
全国支部長会議
開催される



大学の近況

2006年度 第33回卒業式

第33回卒業式が3月18日(日)午前11時より、本学総合体育館「尚淑館」にて挙行された。当日は、多くのご父母ならびに関係者、在学生が見守る中、780名の卒業生たちが新たな門出を迎えた。

式典ではまず、出席者全員で学歌「われらが白き学舎に」を斉唱。続いて、藤本和貴夫学長より、経済学部卒業生を代表して徳弘圭祐さん、法学部卒業生を代表して明渡理映子さんにそれぞれ学位記が授与され、卒業生へお祝いの言葉が述べられた。その後、伴井敬司校友会会長からの祝辞、各賞授与が行われたのち、卒業生代表挨拶が行われ卒業式は厳粛な雰囲気の中で閉式となった。



2007年度 第37回入学式挙行される

4月3日(火)、経済学部423名、法学部444名の新生を迎えて、2007年度入学式が、本学総合体育館「尚淑館」において挙行された。

入学式では経済学部岡崎竜平さん、法学部五島由加里さんの新生代表挨拶に続き、藤本和貴夫学長から歡

迎の辞、本学姉妹校である北京大学前副総長の郝斌(は おびん)教授、岩崎健二八尾市市長からそれぞれ新生たちに祝辞が述べられた。在学生を代表した歓迎のことばでは、法学部4年生(Sコース法職講座受講生)の大坪宏彰さんから「実行力を持って4年間の大学生活を過ごしてほしい」と新生に熱いメッセージが贈られた。入学式終了後、新生たちは在学生による新生歓迎イベントに参加し、入学式当日のキャンパスは華やかな雰囲気にも包まれていた。



2007年度より 大阪IT人材育成特区認定!

本学では、大阪府と共に構造改革特区(大阪IT人材育成特区)を内閣府へ申請し、2007年3月30日付けで、正式に認定された。この認定により、情報処理技術者試験(国家試験)の午前試験が免除されることになり、今年度よりスタートした「IT副専攻プログラム」では、大阪IT人材育成特区を活用して、受講生全員が初級システムアドミニレータに合格することを目標とし、さらに上級の基本情報技術者合格も目指すことが可能となった。



公認会計士試験短答式試験に 菊川和紘さん(経済・4年)が合格!



論文式試験に向けて勉強に励む菊川和紘さん

平成19年公認会計士試験短答式試験の合格発表が、6月28日(金)に行われ、本学経済学部4年生・菊川和紘さんが見事合

格を果たした。国家公務員第一種試験、司法試験とともに「三大難関試験」として知られる公認会計士試験は、毎回合格率が7~8%と合格するのが非常に難しい試験となっており、今年の公認会計士試験短答式試験の受験者数は14,608名で、うち合格者は2,079名となった。今年は、昨年の短答式試験合格者数の5,031名に比してかなりの高倍率だったといえる。菊川さんは、1年次に会計職基礎講座、2年次に公認会計士講座、3年次に公認会計士上級講座と入学以来、本学Sコース(特修講座)の「会計職講座」を受講し、昨年には、「日商簿記検定1級」に合格している。

第2回市民無料法律相談を開催

6月16日(土)、近鉄八尾駅前にあるプリズムホール(八尾市文化会館)で、市民無料法律相談が開催され、前田春樹弁護士と本学教員4名が相談員として参加した。

今年で2度目の開催となる市民無料法律相談は、大阪経済法科大学法学部と法学会の共催で行われ、市民無料法律相談実行委員会(委員長:岩村等法学部長)のもとで企画・開催された。当日は、23件の相談が寄せられ、相談にあたった先生方も、一つひとつの質問に的確で



丁寧なアドバイスを行っていた。また、昨年同様、本学在学生たちが各相談に陪席し、普段の大学の講義では味わうことのできない、生きた法律を学ぶことができた。

韓国・崇実大学校から代表团、 蹴球団、総学生会長団が本学を訪問

- 両大学サッカー親善試合や崇実大・学生会長団と本学・学友会役員の交流会も開催 -



7月11日(水)から14日(土)にかけて、韓国・崇実大学校李廷鎮(イ・ジョンジン)副総長を団長とする代表团と蹴球団26名、総学生会長団14名が本学を訪問した。

崇実大学校は、本学の数ある協定大学の中でも最も活発に交流が行われている大学の一つである。これまでも研究者の相互派遣や学生の交換留学、国際学生交流セミナー、サッカー親善試合など多種多様な交流を展開してきた。

今回の訪問では、7月13日(金)に本学サッカー部と崇実大学校蹴球団との親善試合が本学グラウンドで行われ、両大学関係者をはじめ多くの学生たちが熱い声援を送った。試合は、韓国屈指の強豪チームである崇実大学校の勝利で終わったが、両校の学生たちが体をぶつけ合い、真剣に試合をしている姿を見た観客たちからは、自然に拍手がわき起こっていた。また、本学学友会と崇実大学校総学生会長団との交流会も開催され、双方の活動状況などについて、活発な意見交換が行われた。その後の記念レセプションでは、サンシン(三線)による沖縄民謡の披露なども行われ、学生同士の交流は大いに盛り上がった。



広島支部総会

2007年4月14日(土)、第5回校友会広島支部総会及び懇親会が広島ガーデンパレス3階「高砂の間」で開催された。最初に栢田博昭支部長から、「広島は近畿圏を除けば校友数が最も多いはずであるが、なかなかみなさんの期待に応えられるような活動を行っていない。少しずつでも参加者を増やしていき、地方から校友会活動を盛り上げていきたい。本日を契機に、改めて広島支部の活性化に向けて、尽力したいので、協力をお願いしたい。」と開会挨拶が行われた。



次に、橋本久副学長から本学の教育実績を中心に大学の現況報告が行われ、続いて、阪本誠常任幹事から校友会本部を代表して挨拶が行われた。丸井常任幹事からは2006年度及び2007年度校友会事業計画が報告された。引き続き、出席者の自己紹介及び近況報告の後、広島支部の今後の活動について活発な意見交換が行われた。

第2部の懇親会は、阪本誠常任幹事の乾杯の音頭で開会した。約2時間半にわたり、学生時代の懐かしい思い出や大学の発展ぶり等について和やかな雰囲気の中で懇談しました。最後に、今後広島支部の活性化のために引き続き努力することを確認して、閉会した。

沖縄支部総会

沖縄支部(1999年9月設立)の7回目の支部総会が3月24日(土)に「OKINAWAダイニング 楽空」にて開催された。

総会では、具志堅支部長の挨拶、つづいて藤本和貴夫学長(校友会顧問)の挨拶、阪本校友会常任幹事の挨拶の後、議事に移っていった。今回の総会は、役員改選期にあたり、新任1名を含め10名の役員が選出された。総会後に行われた懇親会では、和やかな雰囲気の中に行われ、校友の親睦を深めることができ、有意義な総会となった。



香川支部総会

2007年4月28日(土)、第7回校友会香川支部総会及び懇親会が喜代美山荘・花樹海にて開催された。

斉藤公晴常任幹事の司会により、総会がスタートした。石塚央支部長の開会挨拶、藤本和貴夫学長(校友会顧問)挨拶、校友会を代表して前吉克明幹事の挨拶が行われた。

続いて、議題にうつり、斉藤常任幹事より2006年度校友会事業報告及び2007年度事業計画案の概要報告、第4期香川支部役員の選出について、提案が行われた。

第2部の懇親会は、岩村等法学部長の乾杯の音頭で

地域支部役員、父母懇談会で在学生父母と懇談

毎年6月から7月にかけて、全国10会場で在学生父母対象の父母懇談会が開催されている。校友会では、昨年からの父母懇談会に参加して、ご父母と校友会地域支部役員との懇談会を行っている。2006年度は岡山支部だけだったが、2007年度は、岡山支部の他に石川支部、広島支部、香川支部、沖縄支部の計5支部から支部役員が参加した。

懇談会では、支部代表者挨拶、支部役員紹介の後、懇談をおこなった。最初は、お互いが堅い表情であったが、時間



が経つにつれ、和やかな雰囲気の中で懇談が進められた。懇談では、学生時代の勉強や下宿生活、就職活動での苦労話などの支部役員の話に、父母が興味深そうに聞き入っていた。

当初は父母と活発な意見交換が可能なのかと一抹の不安もあった。しかし、支部役員が積極的に取り組んだおかげで、父母と活発な意見交換が行われ、校友会地域支部の新たな活動を展開することができた。

開会した。学生時代の懐かしい思い出や今後の香川支部の活動について種々の意見交換が行われ、話はまだまだ尽きない様子でしたが、平副支部長の閉会挨拶をもって終了となった。



ウインズ

活躍する卒業生

平阪 佳久

(1981年経済学部卒業)

デビュー以来地元和歌山県を拠点に活動を続けるデュオユニット。生まれ育った和歌山県をパロディーにした「キンキのおまけ」でデビュー、関西で話題となる。以降シングル10枚アルバム7枚をリリース。Joshinや吉野家など、多数のCMソングや番組テーマ曲を手がけ、テレビ番組のキャスターも務める。



どんな学生生活を過ごされましたか？

大阪経済法科大学入学後、文化会の軽音楽部に入部したのですが、すでに地元和歌山で組んでいたバンド(現ウインズの前身バンド)の活動が忙しくて、半年で退部しました。在学中は、バンド活動やバイトなどが中心の生活になっていたので、学業が少し疎かになっていたかもしれません(笑)。そのため、4年生になってもびっしりと授業を受けていましたね。(^^;)あまりお手本になるような学生ではなかったですね!

大学生で印象に残っていることがあればお聞かせください。

和歌山の実家から2時間半かけて通ってた上に、バンドコンテストやバイトで学校にいる時間が少なかったのですが、当時、キャンパスを肩で風を切って歩いていた阪本先輩(現校友会常任幹事)の姿が、今でもすごく目に焼きついています。そして、そんな先輩方と卒業後も仲良くお付き合いさせていただくたびに、大阪経済法科大学の学生で本当によかったと実感させられています。

本格的にプロを目指そうと思ったきっかけは?また、プロになった後の苦労話などがあればお聞かせください。

卒業後、デビューする27歳までは、特にプロを目指すなどという考えを持たないまま実家の米屋の仕事しながらバンド活動をしていました。そんな時、ふとしたきっかけで3社のレコード会社から声がかかり、ピクチャー(現ピクチャーエンターテインメント)からメジャーデビューすることになりました。しかし、デビューしてからの21年間は、谷あり、谷ありの音楽人生で、あの時声をかけていただいたのが本当に良かったのか?ととりあえず後輩たちには、あまり勧められない職

業ですね。

現在の活動状況をお聞かせください。

大したヒット曲もないウインズが、デビューから21年間も歌い続けていくことができたのは、大学時代の先輩や後輩を含め、多くの皆さんの応援があったからだに感謝しています。今回、そんな感謝の思いを歌にしたのが、今年7月7日に発売した「ウインズ7Album～道～」のタイトル曲「道」です。ウインズの公式サイトに歌詞が掲載されていますので、校友の皆さんには、是非一度聞いていただきたいと思いません。

最後に、校友会の皆さんにメッセージをお願いします。

いつもマイナーバンドのウインズを温かい気持ちで応援していただき、本当にありがとうございます。これからも大阪経済法科大学の卒業生として、皆さんが自慢できるようなウインズになれるよう頑張っていきますので、引き続き応援をよろしくをお願いします!

LIVEや出演番組などは、下記のウインズ公式サイト・携帯サイトをご覧ください。



- ・公式サイト<http://winds-wakayama.com>
- ・携帯サイト<http://winds-wakayama.com /k/>

介護支援専門員

社会福祉法人讃岐学園
特別老人ホーム「弘恩苑」老人介護支援センター

松木 千佳

(1997年経済学部卒業)

「介護支援専門員(ケアマネジャー)」という仕事はあまり知られていない。しかし、介護を必要としているお年寄りや家族にとって、暗闇に光を射す女神のような存在である。施設の夏祭りの準備で忙しい中、その介護支援専門員である松木千佳さんにお話を伺った。



大学生のエピソードや思い出を聞かせ下さい。

大学時代は思いっきり好きな勉強が出来る時期です。今から思えば、もっと勉強しておけば良かった、と後悔しています。後輩には、思いっきり勉強して、遊んで、いろんな経験をして、充実した大学生活を楽しんで欲しいですね。

一番の思い出は、深江先生と友人とでオーストラリアの先生の友人宅へ約2週間ホームステイしたことです。異文化を肌で知り、それから海外旅行が大好きになりました。また、学生課が紹介してくれた知的障害者更生施設で10日間実習をしたことが、「将来は福祉に携わる仕事がしたい」と決意させてくれました。

卒業後の進路はどうされたのですか？

卒業後は念願だった地元香川の知的障害者更生施設に就職しました。しかし、6年目に体調を崩して残念ながら退



所しました。そして、心身のリフレッシュの為、オーストラリアに短期留学しました。

その後、自分が体調不良で働けなくなった体験を通じて、「社会的弱者」のために働きたいという気持ちがより強くなり、再度福祉職を目指し、ヘルパー・介護福祉士の資格を取得しました。

そして、2004年に現在の特別老人ホーム弘恩苑に就職しました。昨年、介護支援専門員の資格を取得して、4月からは同苑内の支援センターで働いています。

現在の仕事の内容を教えてください。

介護支援専門員の仕事は、一言でいえば介護についての「なんでも相談屋」といえます。介護保険の申請相談、ヘルパーの手配など、介護全般に関わる相談内容はさまざまです。ときには無理難題を言われたり、介護疲れで家族から当たられたり、壁は大きく厚く、途方にくれることが多いです。

そんな時、お年寄りの方から「ありがとう」と感謝されると、やっていてよかったと改めて思います。また、さまざまな経験を通じて、自分が日々成長していることを実感させてくれるありがたい仕事だと思います。

最後に今後の目標、将来の夢があればお願いします。

当面の目標は、福祉関係の難関国家資格である社会福祉士の資格取得です。それから、海外で困っている人達の自立支援等を応援できる仕事に就きたいというのが将来の夢です。

人生の終着駅のお世話をさせて頂いて思うのは、「感謝する心を持つことが幸せにつながる」ということです。この言葉を念頭において、常に前向きにがんばっていきたくと思っています。

体育会サッカー部



体育会サッカー部は、今年春の関西学生サッカー連盟春季リーグ戦で、見事全勝優勝を成し遂げ、2年ぶりの2部リーグ昇格を果たすことができた。また、現在のサッカー部員の中には、全国高校選手権大会やインターハイ、天皇杯などに出場した選手もあり、今秋に行われる2部リーグでも好成績を残せるよう日々の練習に励んでいる。

サッカー部では、部活動だけでなく、学生の本業である学業も怠ることなく一生懸命に取り組んでいる。その甲斐あってか、現在の4年生の半数以上は、すでに卒業単位を修得しており、就職活動においても95%以上が既に内定を勝ち取っている。また、チームのエースストライカーである鶴谷剛士(経済・4年)は、部活動を影ながら支える体育会の本部長という重責を務めるかわら、教職課程を履修しており、サッカー部の中で最も優秀な人材であると言われている。

この他にもサッカー部には、個性溢れる、優秀な部員たちが多く所属しており、とてもにぎやかでアットホームな雰囲気を持った楽しいチームである。

これからも「勝利」という一つの目標に向かって監督、部員一同、日々の練習に取り組み、一人ひとりがチームのために全力でプレーできるよう、「FOR THE TEAM」をモットーに掲げ、どこにもない最高のチームにしていきたいと決意している。

2007年度 文化博覧会『Look at me』を開催

今年も大阪経済法科大学文化会系クラブによる、年に一度の大イベント、文化博覧会『Look at me』が、7月6日(金)、7日(土)の二日間、八尾プリズムホールで開催された。

この文化博覧会は、文化会系クラブ(主に音楽系、展示系および学術系クラブ)が一堂に会し、日頃の練習成果の発表や各クラブ間の相互理解、また文化会に所属する学生以外との交流を深めることなどを目的に開催されてきた。

一日目に行われた音楽系クラブのライブでは、吹奏楽部の『情熱大陸』やフォークソング部のアプリルラヴィーンの曲などが披露された。その他にも軽音楽部やJAZZ研究会、音楽研究会のライブが行われ、会場は大いに盛り上がりを見せていた。

二日目の作品展示会では、毎年恒例となった模型研究会のプラモデル展示やアニメ研究会のイラスト展示などが行われた。また、ダーツ大会やピンゴ大会、各クラブ対抗のゲーム大会なども行われ、会場内は一日目に負けないくらいの盛り上がりを見せていた。

今回の文化博覧会で、音楽系クラブ、展示系クラブとともに、それぞれの持ち味を十分に発揮した、充実した二日間となった。



女子卓球部が日本肢体不自由者卓球協会主催の強化合宿に参加

女子卓球部は、5月24日(木)~26日(土)の三日間、大阪市舞洲障害者スポーツセンターにて開催された日本肢体不自由者卓球協会主催による、ナショナルチームの強化合宿に参加した。この合宿は、今年度の日本障害者卓球選手権大会の優勝者たちが集まり、アジア・世界大会に向けた強化練習のために実施されたもので、今回、本学の女子卓球部が、練習指導及び練習試合の相手として招聘された。

練習に参加した本学学生からは、「日頃の練習環境と

の違いに少々戸惑いを感じたが、体に障がいを持ちながら頑張る選手たちの卓球に対する情熱や向上心が、すごく勉強になった。」と練習で流した汗を気持ちよさそうに拭っていた。



2007年度 春季体育会クラブ試合結果

クラブ名	大会名	戦績
卓球部	関西学生卓球新人大会	男子団体 3位 女子団体 準優勝
	関西学生卓球選手権大会	シングルス ベスト3 2 5名 ダブルス ベスト1 6 2組
	関西学生卓球連盟男子・女子一部春季リーグ戦	男子 2勝5敗 6位 女子 3勝4敗 5位
テコンドー部	第24回ユニバーシアード競技大会日本代表最終選考会	男子ウエルター級 優勝
	全日本テコンドー選手権大会(西日本地区大会)	男子フィン級 2回戦 男子フライ級 優勝 男子ウエルター級 優勝
サッカー部	関西学生サッカー連盟新人戦	対甲南大学 1-0で勝利 対奈良産業大学 0-3で敗戦
	関西学生サッカー連盟春季リーグ戦 3部リーグDブロック	7戦全勝 3部順位決定戦進出 1回戦 対大阪工業大学戦 3-2で勝利 2部昇格 2回戦 対大阪市立大学戦 0-2で敗戦
空手道部	第45回西日本大学空手道選手権大会	男子団体 2回戦進出 女子団体 ベスト8
ソフトボール部	全日本大学ソフトボール選手権大会 近畿予選	対京都学園大学戦 10-0 5回コールド勝ち 対大阪工業大学戦 15-0 5回コールド勝ち
硬式野球部	阪神大学野球連盟春季リーグ戦 3部	3位 7勝3敗
バレーボール部	関西大学バレーボール連盟男子春季2部リーグ戦	7勝3敗 5位
	関西大学バレーボール連盟女子春季7部リーグ戦	3勝4敗 6位
少林寺拳法部	第45回少林寺拳法関西学生大会	単独演武女子二段以上の部 最優秀賞
剣道部	第52回西日本学生剣道大会	男子団体 2回戦進出
	第22回西日本女子剣道大会	女子 1回戦敗退
柔道部	関西学生柔道優勝大会 1回戦	対京都学園大学 7-0で勝利 2回戦 対龍谷大学 0-6で敗戦
アーチェリー部	第27回関西学生アーチェリーテクニカルカップ	男子個人の部 11位